

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

**\*旧図書館の雑BOX-6 (壁の下) の乾板について：26” 望遠鏡写真**

天文情報センター・アーカイブ室では国立天文台に残された写真乾板の整理を行っている。旧図書館に保管されている天体写真乾板については S 君が整理を行っており、この整理の中で天体写真以外の雑乾板について筆者が引き受けデジタルデータとして取り込むことを進めている。今回は2011年10月11日に筆者に届けられた写真乾板の箱「雑BOX-6 (壁の下1)」に入っていた写真乾板6枚の報告である。写真1が入っていた箱の写真である。

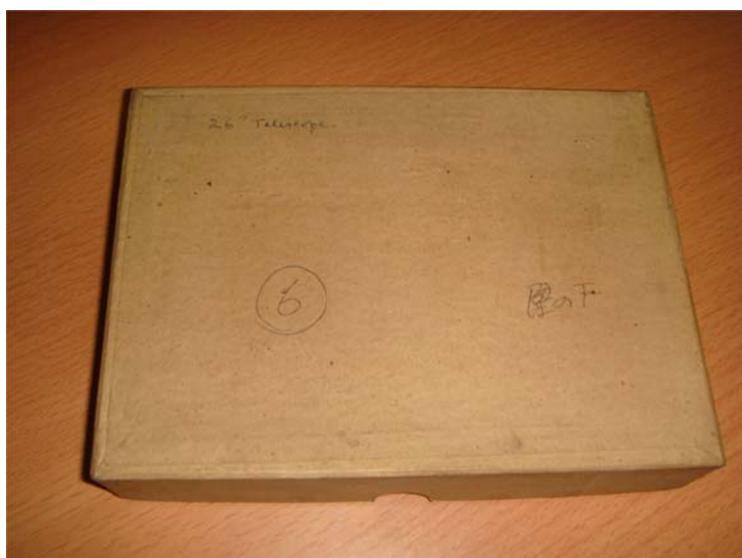


写真1 箱には26” Telescope と書いてある  
中には6枚の写真乾板が入っており、そのサムネイルが写真2である。

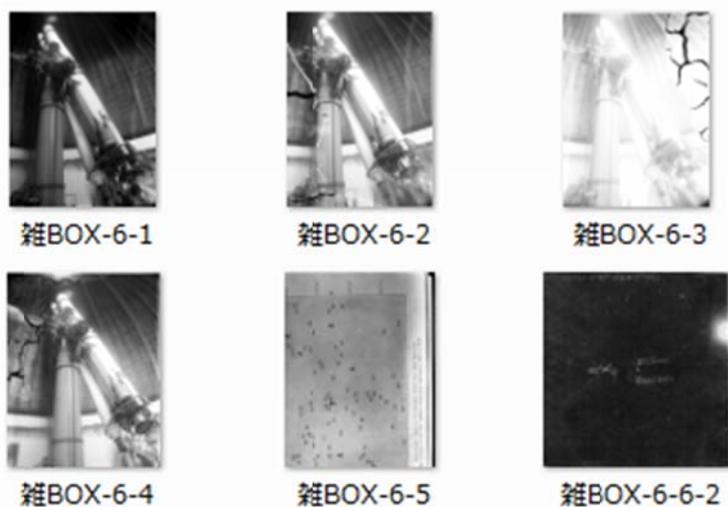


写真2 雑BOX-6 のサムネイル

箱の表に書かれているように6枚のうち4枚は国立天文台に現存する26”屈折望遠鏡の写真であった。サムネイルではよく分からないが乾板の膜面はかなり剥れている。写真3は乾板をスキャナーで取り込んだものである。この写真では膜面の痛みがよくわかる。



写真3 26”望遠鏡の写った4枚の乾板をスキャナーで取り込んだもの

写真乾板を保管するための管理が不十分な図書館におかれた写真乾板はこのように膜面が痛む。これらの写真がこの段階で発見されたから何とかデジタルデータとして読み込むことが出来、保存することが出来る。この写真を見ると、26”望遠鏡に光電受光機を取りつけていることが分かる。歴史の1ページを語っているのである（写真4）。



残りの写真 6 は星野写真で、 $25^{\circ}$  AOS(5.2) 5h49m0, 4S  $+25^{\circ} 55.8'$  と座標が書かれている。

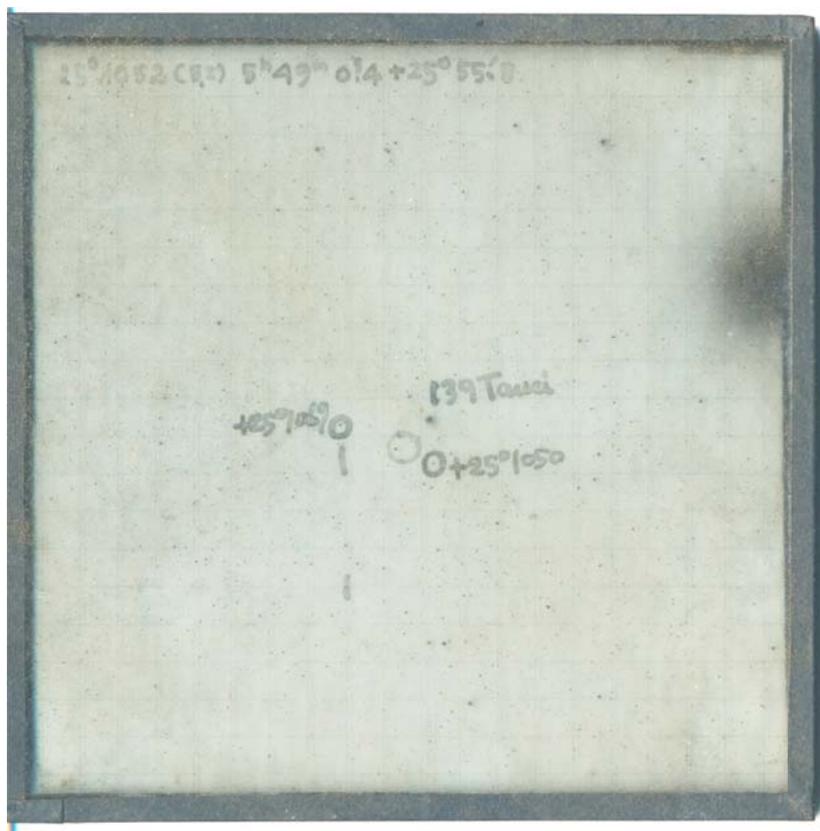


写真 6 135Tauri と書かれた星が写っている

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)